

[掲載紙] 上毛新聞「点描ぐんま経済 日銀支店長 見聞録」

[掲載日] 2015年10月23日

[テーマ]にぎわう前橋まつり一街の盛り上がり確信—

「昔は人の波で動けないほどだったが、最近は寂しい限り」。これまで何度聞いたことか。前橋の中心商店街のことである。

確かにシャッターが閉まっている店もあるが、開いている店にはちゃんとお客さんがいる。商店主の皆さんは人情味あふれる方ばかりで、昼休みや会社の帰りなどに立ち寄るのが楽しい。東京にある自宅近くの商店街なんてもっと寂れており、本当にどこも開いていない。それに、昔は人の波で動けなかったなんて大げさだなあ、と内心思っていた。

先日、前橋まつりを見に行き、言われていたことの意味がようやく分かった。今まで見たことのない人の数。自動車で移動する生活スタイルが定着し普段は郊外のショッピングセンターに通っている人々が、いちどきに中心商店街に集まると、こうなるのか。これが人の波で動けないということだったのか。想像できなかった光景を目の当たりにして感動してしまった。

2日間のまつり期間中は、小学生による鼓笛吹奏楽パレードや勇壮な大人みこし、前橋だんべえ踊りなど、多くの行事が続いた。NHK大河ドラマ「花燃ゆ」の舞台が群馬に移るタイミングで前橋を訪れた大沢たかおさん（初代群馬県令の楯取素彦役）を一目見たいという妻の強い要望もあって、まつり会場には結局2日間とも通った。

あちこちからおいしそうな匂いがしてくる。匂いにつられ、いろいろなところで買い食い。今回は、前橋T-1グランプリ×高崎キングオブパスタ・コラボイベントに長居をして、新しい名物料理にも舌鼓を打った。

同イベントは、前橋市民が提案したさまざまなイベントを1カ月半にわたって市内各地で行う「前橋〇〇特区45DAYS」の第1弾とのこと。11月23日までの期間中、広瀬川河畔でのバーベキューやイタリアワインを楽しむイベントも予定されているということなので、楽しみである。

私が東京で住んでいた街では、最近出来たばかりのコーヒー焙煎所ほいせんじょが有名になったことで、これからはコーヒーの街、カフェの街として盛り上げていこうとしているようである。前橋でも今回のイベントをきっかけに、市民それぞれが主体的に街を盛り上げていく動きがさらに活発になっていくと確信している。

全国の商店街におけるソフト事業の実施状況 (%)

	繁栄している 商店街	衰退している 商店街
祭り・イベント	79.3	60.1
環境美化、エコ活動	69.0	29.4
防災・防犯	69.0	31.4
共同宣伝（マップ、チラシ等）	62.1	37.1
勉強会・学習会	58.6	12.2
携帯電話等を活用した情報発信	34.5	2.6
サービス券・スタンプ・ポイントカード	20.7	34.5
共通商品券（飲み歩き券・食べ歩き券を含む）	20.7	22.1

（出所）中小企業庁「平成 24 年度商店街実態調査報告書」

（ 日本銀行前橋支店長
 神山 一成 ）